

慶弔報告

お祝い申し上げます

(敬称略)

〈旭日小綬章〉

南海放送株式会社

会長 田 中 和 彦

〈紺綬褒章〉

協同組合 愛媛電気保安協会

理事長 小 林 徹 夫

ご冥福をお祈り申し上げます

(敬称略)

門 屋 齊 (株式会社 門屋組 会長)

遺贈・相続財産寄付のご案内

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出を多くいただいております。

日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

ご寄付いただく方々の事情はさまざまですが、ご自身や故人のご意思を社会のために役立てることを目的に、安心できる方法で、かつ信用できる団体に寄付したいという思いは共通しています。

日本赤十字社に相続財産を寄付した場合、相続税が非課税となる税制上の優遇措置があります。資料請求など、ご関心をお持ちの方は、当支部(TEL089-921-8603)までご連絡ください。



愛媛県支部施設見学受付中

赤十字の活動について理解を深めていただくため、災害時救援物資倉庫の見学や、災害に備えた体験見学会を実施しております。

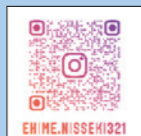
お気軽に事務局までお問い合わせください。



〇お問い合わせ



日本赤十字社 愛媛県支部
Japanese Red Cross Society



〇愛媛県赤十字有功会事務局

所在地：〒790-0854

愛媛県松山市岩崎町2丁目3番40号

日本赤十字社愛媛県支部

連絡先：電話(089)921-8603

FAX(089)932-9160

URL：<https://www.jrc.or.jp/chapter/ehime/>



第23号 有功えひめ

+ 有功えひめ

発行/愛媛県赤十字有功会 〒790-0854 松山市岩崎町二丁目3番40号 TEL 089-921-8603



ごあいさつ

愛媛県赤十字有功会

会長 大塚 岩男

皆様には、日頃より、有功会事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年元日に発生した令和6年能登半島地震は、甚大な被害をもたらしました。日本赤十字社は発災直後から救護班や災害医療コーディネートチーム、こちらのケア班などを全国各地から派遣して救護活動を行うとともに、救援物資を配分するなど、災害対応に全社をあげて取り組みました。

近年、我が国では自然災害が激甚化・頻発化し、各地で甚大な被害が発生しており、災害救護を事業の柱とする赤十字への国民の期待や要請は高まっております。

今後の赤十字事業の発展を期待するとともに、有功会といたしましても、赤十字活動を広く普及するための協力体制を強化していきたいと思っております。

また、今年は大阪・関西万博が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催されますが、日本赤十字社も「人間を救うのは人間だ」の出展スローガンのもと、国際赤十字・赤新月社運動パビリオンを出展運営すると聞いております。

日本赤十字社の創設者であり、初代社長の佐野常民が約150年前にパリ・ウィーンで開催された万博に参加し、赤十字の理念に共感し、日本赤十字社設立に繋がったものであり、今回の出展にも大いに期待しているところです。皆様にも是非ご観覧いただきたく存じます。

結びに、会員の皆様方のご健勝、ご清祥を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

子ども向け防災教材 ボランティア活動用ビブスを寄贈

令和6年度は、当会より日赤愛媛県支部の実施する防災事業に活用するための子ども向け防災教材を寄贈しました。

災害に備えた知識を習得することを目的としたカードゲームや子ども達に災害が発生した際にとるべき行動を伝えるための紙芝居など、同支部が主催するイベントでは多くの子供たちが興味を持ち、楽しく防災を学んでいました。

また、日頃から県内各地の様々な場面で活動する赤十字ボランティアの皆さんに活動時に着用するビブスも寄贈しました。着用した高校生や大学生のボランティアは社会に貢献できるよう多くの場面で活用したいとの感想もありました。



赤十字フェスタを松山大街道商店街で開催

令和6年5月11日の赤十字運動月間期間中に有功会員である、久保豊株式会社 久保 素子代表取締役からのご紹介で、赤十字活動の普及・啓発を目的としたイベントを松山大街道商店街にて開催しました。

オープニングは愛媛大学教育学部附属小学校コーラス部による合唱で始まり、赤十字奉仕団員など、約80名の方が集まりました。



アンリー・デュナン・佐野常民像を ご寄贈いただきました。

有功会員の小林 徹夫 様（協同組合愛媛電気保安協会理事長）から日本赤十字社愛媛県支部及び松山赤十字病院に赤十字の創始者アンリー・デュナンと日赤初代社長 佐野 常民の胸像をご寄贈いただきました。

令和7年3月16日には、松山赤十字病院で除幕式が執り行われ、寄贈者の小林様をはじめ、製作者、日赤関係者の立ち合いのもと、両像がお披露目されました。

式典の最後には、松山赤十字病院 西崎院長から小林様に感謝状が贈呈され、今後も期待に応えられるよう謝辞をお伝えさせていただきました。

また、除幕式後に佐賀市立「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」佐幸 順平 館長をお招きし、初代社長である佐野常民の生涯とその業績についてご講演いただきました。

